

正

健康保険被保険者報酬月額算定基礎届

Table with 4 columns: 常務理事, 事務局長, 処理者, and an empty cell.

Table with 2 columns: 届書コード (2, 2, 5) and 処理区分 (届書).

Table with 2 columns: 事業所整理記号 and 健康保険被保険者証の記号.

社会保険労務士記載欄

Main table with 10 rows for insured persons. Columns include: 健康保険番号, 氏名, 生年月日, 種別, 従前の標準報酬月額, 適用年月, 算定基礎月の報酬支払基礎日数, 通貨によるもの額, 現物によるもの額, 合計, 平均額, 修正平均額, 決定後の標準報酬月額, 従前の改定月・原因, 備考.

全日本理美容健康保険組合

Table with 2 columns: 事業所所在地名称 and 事業主氏名, 電話.

令和 年 月 日 提出
受付日付印
社保委員等の検印
※印欄は記入しないでください。

厚生年金保険被保険者報酬月額算定基礎届

事務センター長 所長	副事務センター長 副所長	グループ長 課長	担当者
---------------	-----------------	-------------	-----

届書コード	処理区分	届書
2 2 5	※	
事業所 整理記号	※	

社会保険労務士記載欄

⑦ 健康保険番号	⑧ 被保険者の氏名	⑨ 生年月日	⑩ 種別	⑪ 従前の標準報酬月額	⑫ 従前の改定月・原因
⑬ 算定基礎月の報酬支払基礎日数	報酬月額			⑭ 従前の標準報酬月額	⑮ 備考
支払基礎日数	⑯ 通貨によるものの額	⑰ 現物によるものの額	⑱ 合計	⑲ 平均額	⑳ 修正平均額
				㉑ 決定後の標準報酬月額	㉒ 作成原因
				千円	千円
健康証番号(厚年整理番号)	氏名	生年月日	種別	健康の従前	厚年の従前
4月 日	円	円	円	円	円
5月 日	円	円	円	円	円
6月 日	円	円	円	円	円
4月 日	円	円	円	円	円
5月 日	円	円	円	円	円
6月 日	円	円	円	円	円
健康証番号(厚年整理番号)	氏名	生年月日	種別	健康の従前	厚年の従前
4月 日	円	円	円	円	円
5月 日	円	円	円	円	円
6月 日	円	円	円	円	円
4月 日	円	円	円	円	円
5月 日	円	円	円	円	円
6月 日	円	円	円	円	円
健康証番号(厚年整理番号)	氏名	生年月日	種別	健康の従前	厚年の従前
4月 日	円	円	円	円	円
5月 日	円	円	円	円	円
6月 日	円	円	円	円	円
4月 日	円	円	円	円	円
5月 日	円	円	円	円	円
6月 日	円	円	円	円	円
健康証番号(厚年整理番号)	氏名	生年月日	種別	健康の従前	厚年の従前
4月 日	円	円	円	円	円
5月 日	円	円	円	円	円
6月 日	円	円	円	円	円
4月 日	円	円	円	円	円
5月 日	円	円	円	円	円
6月 日	円	円	円	円	円

全日本理美容健康保険組合

事業所	〒	-
所在地		
名称		
事業主氏名		
電話	()	局番

令和 年 月 日 提出

受付日付印

社保委員等の検印

※印欄は記入しないでください。

[届書作成上の留意事項]

○この届書は3部複写(健保用上2枚、厚年用下1枚)になっております。

[記入上特にご注意いただきたいところ]

- 1) a. 事業所整理記号 —— 「厚生年金保険事業所整理記号」
b. 健康保険被保険者証の記号 —— 1～3けたの算用数字
- 2) 各被保険者の番号 —— 健保証の番号と厚年整理番号とが異っている事業所につきましては、誤りのないようご記入願います。
- 3) 従前及び決定後の —— 健保用は“058 ～ 1390”です。
標準報酬月額 厚年用は“098 ～ 620”です。
- 4) 70歳以上の —— 健保用のみご記入願いますが、3部とも記入したうえ、
健保のみ被保険者 厚年用分を横線による抹消で結構です。

なお、厚生年金基金に加入している事業所は、基金分を別途作成してください。

[元号・被保険者種別の“数字化” 記入についての説明]

元 号 —— 5: 昭和 7: 平成

被 保 険 者 種 別 —— 1: 男子 2: 女子
5: 厚生年金基金の加入員である男子
6: 厚生年金基金の加入員である女子

[記入の方法]

1. 7月1日以前に被保険者の資格を喪失している者については記入しないで下さい。
2. ㊦欄には、報酬のうち、臨時に受けたもの及び年3回以下で支払われるもの以外のもので、通貨で支払われた賃金、給与、俸給手当、賞与その他いかなる名称であるかを問わず、労働者が労働の対償として受けた、すべての額を、それぞれ該当の欄に記入願います。
3. ㊧欄には、報酬のうち、食事、住宅、被服など通貨以外のもので支払われたものについて、厚生労働大臣が定めた価格によって算定した額を、それぞれの該当の欄に記入願います。
4. ㊨欄には、㊧欄の額を報酬支払の基礎となった日数17日以上月の数で除して得た額を、記入願います。
5. ㊩欄の「遡及支払額」には算定基礎月内に支払われた通常給以外の報酬を、「昇(降)給差の月額」には昇(降)給により増(減)額された額の月額を、「昇(降)給月」には、昇(降)給又は、遡及分の支払が行われた月を、それぞれの該当の欄に記入願います。
6. 支給額が“低額の休職給”、“ストライキによる賃金カット後の給料”、“長期欠勤のため支給0”等の時は「備考」欄にその旨を各々“休職給”、“賃金カット、何日分何円”、“年月日より病欠”等簡単にご記入願います。